

ばあちゃんのしおむすび

登米市立新田小学校 2年 千葉 湊 心

「なにたべたい。」

「ばあちゃんのしおむすびー。」

じっかにとまりに行くと、お昼はいつもこんなかんじでできます。ばあちゃんは、

「あらーしおやりすぎたなー。」

とわらいながら、おにぎりをもってきます。みんなでたべてみると、みんなのかおはおもしろいかおをしていました。

ばあちゃんのしおむすびは、すんごくしょっぱい。中にうめぼしが入っていないのにしょっぱい。でも、いところもおにいちちゃん、おねえちゃんもわたしもこのしおむすびが大好きです。しおむすびがあれば、大好きなおにくのおかずがなくても大じょうぶです。

おうちで、お母さんにしおむすびを作ってもらったら、ぜんぜんしょっぱくない。お母さん、しおわすれちゃったのかなーと思ったからきいてみたら、

「ばあちゃんのようなしおむすびはつくれないね。やっぱり、ばあちゃんにしか出せないあじなんだね。」

っていってました。わたしも、ばあちゃんにしか出せないあじだと思います。

わたしのおうちではおこめを作っています。春にみんなでたねまきをして5月には田うえをしました。わたしは、土を入れるかかりと、おやつを出すかかりでした。今は田んぼで元気にそだっています。あきになればいねをかるから、またお手つだいをしようと思っています。そしたら、きっとおいしいおこめが出きると思います。

おこめが出きたら、わたしはみんなにおにぎりを作ってあげたいです。中みは、わたしの好きなツナとサケにしようと思いました。そして、ばあちゃんのような、みんなのかおがおもしろいかおになるような、しょっぱいおにぎりも作って、それをこんどはばあちゃんにたべてもらいたいです。